

図書館新聞

としよかんしんぶん

Vol.10

活動紹介
おすすめ本
新入生へ贈る本
今月の展示



1月の展示

テーマは、

素敵な暮らしを支える 家

1月の展示では、世界の様々な家や、屋根、窓、ふしぎなお家の絵本、家まつわる物語の本などを集めてみました！

“家”づくしです。

展示は終わってしまいましたが、下の写真でお楽しみください（^_^）



2月・3月の展示

2月・3月の展示は様々な文房具を取り上げた本を紹介しています。
仕事に使える文房具や記念日に作っても楽しい消しゴムはんこなど今までの文房具のイメージをくつがえすようなユニークなものがいっぱいです(・∀・)ノ



これはおすすめ
新入生のみなさんへ！

Book

『大学生学びのハンドブック』

世界思想社編集部：2008

「高校とは何が違うの?」「レポートってどうやって書くの?」
などなど・・・大学生生活を始めるうえで新入生には不安や分から
ないことがたくさんあると思います。そんな新入生の手助け
になるような本を紹介します。授業でのノートのとり方やテキ
ストの読み方、図書館での資料の探し方、レポートの書き方、
さらには試験のことまで。充実した学生生活を送れるための心
強い味方になる一冊です！

1年 内田



『夜は短し歩けよ乙女』

森見登美彦

角川書店：2006

「あ！先輩、奇遇ですねえ！」…「黒髪の乙女」に片想いしてし
まった「先輩」。

二人を待ち受けるのは、奇々怪々なる面々が起こす珍事件の数々、
そして運命の大転回だった。特徴的な文体で描かれる恋愛ファン
タジーこの短大であなたも、奇想天外な人たち、ファンタジック
な恋に会えるかも！？

2年 田邊



『生協の白石さん 学びと成長』

白石昌則

ポプラ社：2012

学生からの質問に、ひたすら生協職員の白石さんが答えていく
本です。学生からの質問は、「就活の準備っていつから?」「資
格が欲しい」「スマートフォンのスマートって何?」など様々で
す。一問一答形式なのと、何より白石さんの返しが軽妙なので
とても読みやすいです。大学の雰囲気を感じ取れて、色々なこ
とに挑戦したくなる本だと思いますので、是非読んでみてくだ
さい。

1年 古川



『ひとりごはんとおべんとう』

主婦の友社：2008

これから大学生として一人暮らしをする新入生のみなさんにおす
すめの簡単だけどとってもおいしいおべんとう・おかずが盛りだ
くさんな本です。

料理上手めざしてあなたも Let's challenge!!

2年 水川



『乙女の古典』

清川妙

中経出版：2011

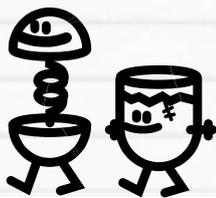
未然、連用、終止、連体…高校では試験のために必死で覚えま
したね。大学では、古典の面白さをしっかり味わいましょう!
本書は透き通るような文体でかつての女性たちの恋がおしゃれ
に描かれています。古典の書籍ではなく、恋のバイブルとして
手元に置かれてみてはどうですか。

- 「夜こそ短きに」といひなぐさめてともに臥ぬ -

2年 榎原



画像は Amazon より





司書さんおすすめ本



図書館司書 馬庭さん



『図書館の神様』

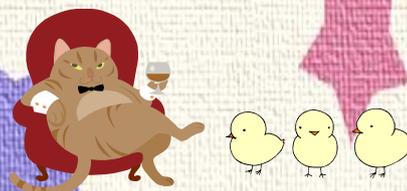
瀬尾まいこ著

マガジンハウス 2003年

高校教師の早川清と文芸部唯一の部員、垣内君との物語です。1年間図書館で一緒に過ごした2人が卒業式に交わした言葉はとても簡潔でうまく気持ちが言葉に出来ないもどかしさを感じられます。

しかし、この1年間が2人にとって大切な時間だったことが伝わってきて言葉に出来なくても気持ちは伝わると思える心温まる作品です。

おはなしレストランライブラリー司書
内田さん



『きぼう ころろひらくとき』

ローレン・トンプソン作

千葉茂樹訳

ほるぷ出版

「きぼう それは、おもいきってふみだすはじめのいっぽ」

2年生のみなさんは、いよいよ卒業ですね。4月から始まる新しい生活に、少し不安を抱いている人もいるのではないのでしょうか。

新たなスタートを切る、今。この本を開いてみてください。ふっと肩の力が抜け、前を向く力が湧いてきます。忙しい日々の中で、つい忘れがちなこと、当たり前だと思って見過ごしていることの大切さを思い出させてくれる一冊です。

図書委員おすすめ本

2年生最後の図書館新聞、

みんなでおすすめ本を書きました！



臨床犯罪学者・火村英生の推理 46番目の密室/
有栖川有栖 角川ビーンズ文庫 2012

元々は、1992年に講談社ノベルズ、1995年に講談社文庫で『46番目の密室』として刊行された作品です。「フィールドワーク」と称して犯罪現場へ赴く英都大学社会学部助教授・火村英生と、その助手のミステリ作家・有栖川有栖が軽井沢の別荘で起こった密室殺人の謎を解く話です。推理小説はちょっと苦手……。という人でも、するっと読める作品です。小田



鼓笛隊の襲来/三崎亜記

集英社文庫 2008

赤道上に、戦後最大規模の鼓笛隊が発生した—この小説は、台風のようにやってきて、人々を遠くへ連れて行ってしまいう鼓笛隊など、私達の世界とは微妙に違った常識が紛れ込んでいる世界を描いた短編集です。作中に出てくる設定は、どれも現実ではありえないことばかりなのに、その中にいる人々の感情表現がとてもリアルで、その世界にどんどん引き込まれていくような小説です。安達

臓器農場/帚木蓬生

新潮文庫 1996

書店ではじめてタイトルを見たときに、「スプラッターな内容だったらどうしよう」と思いました。しかし、実際は九州のとある総合病院を舞台とした、臓器移植をめぐる医者の看護婦、患者の葛藤、医療現場の暗部を描いた深い内容のサスペンスでした。

フィクションに限った物語という訳ではなく、現代の私たちにも様々な問題を投げかけている作品だと思いました。水川



星の王子さま/サン＝テグジュペリ 内藤濯訳
岩波書店 1962

短大で友だちはできるのかな…そのようなことを考えて入学したのはつい最近のことでした。図書委員会に入って多くの人と関わり、友だちもできました。みんな進路は違うので会えなくても、王子さまの言うとおりにちょっとだけものの見方を変えたら図書委員会のことを思い出すことができそうです。

楳原



どこいったん/ジョン・クラッセン 長谷川義史
クレヨンハウス 2011

くまが大事な赤い帽子をなくして探しています。いろんな動物に「ぼくのぼうしどこいったん？」と聞いてみたけど誰も知らないみたい。あれ？でもさっきあの子が……。

なんとも言えないシュールなイラストがかわいくて思わず引き込まれます。関西弁がいい味、出してます（笑）

「第5回 MOE 絵本屋さん大賞」第2位を受賞！ 川井

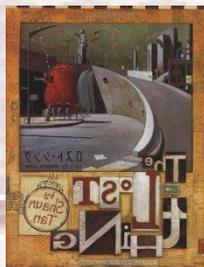


ロスト・シング/ショーン・タン 岸本佐知子訳
河出書房新社 2012

ある夏の日、大きくて赤いだるまストーブとヤドカリとタコが合わさったような妙な生き物とぼくは出会った。どうやらこの妙な生き物は迷子らしい。そいつの居場所を探そうと、そいつとぼくの不思議な旅が始まった。

作者により映像化もされたこの作品は、アカデミー賞短編アニメーション部門も受賞しているおすすめ作品です。

岩佐



ななつのか/加納朋子
創元推理文庫 1999

図書館司書を目指す短大生の駒子は、ある日手にした『ななつのか』という本に惹かれ、作者にファンレターを出しました。

最近自分の町でおこった、ちょっとした「事件」について書いて送ったところ、作者本人から、「事件」のこたえが届いたことから、2人の手紙のやり取りが始まります。

意外な事件の真相はもちろん、20歳になることを怖がり、将来に悩みながら成長していく彼女の姿に共感を覚える人も多いはず。何気ない日常の楽しさに気付かせてくれる作品です。

周藤



博士の愛した数式/小川洋子
新潮社 2005

「ぼくの記憶は80分しかもたない」博士の背広の袖には、そうかかれた古びたメモが貼られていた……。ぎこちないながらも暖かくて喜びがその暮らしにはある。悲しく暖かい世界にふれてみませんか？

中村

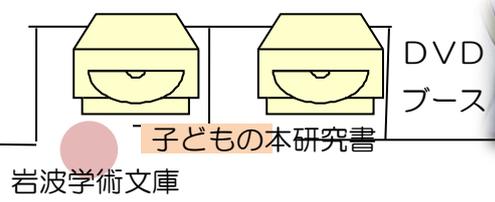


新世界より/貴志祐介
講談社 2008

子供たちは、大人になるために「呪力」を手に入れなければならない。一見のどかに見える学校で、子供たちは徹底的に管理されていた。いつわりの共同体が隠しているものとは――。何も知らず育った子供たちに、悪夢が襲いかかる！

ハラハラする展開に目が離せなく、一気に読んでしまわないと続きが気になって眠れません。田邊





7 芸術・スポーツ

7 芸術 010 図書館
9 文学 007 情報

古瀬文庫
叢書
東洋文庫

子どもの本
P (絵本)

文庫 (F)

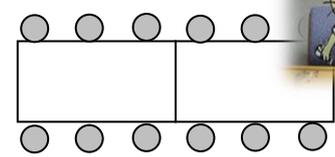
多読

F (現代小説)

DVDもみれるらび♡

9 文学

参考図書コーナー
(辞書・事典)



新書コーナー

雑誌コーナー

グループ演習室

FD

視聴覚

へ(へるん)

郷土図書コーナー

図書委員のお姉さん達に会ったらび☆



新聞コーナー

カウンター



やさしい司書さんがいるらび☆ミ

一般図書

9 文学 8 言語
5 家政学 6 産業

5 技術
4 食品・栄養学

4 自然科学

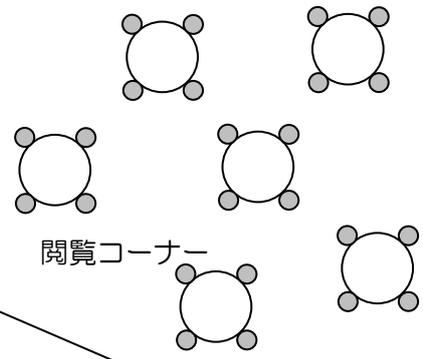
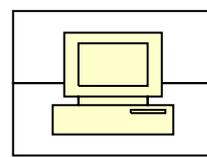
3 社会科学

3 社会科学
2 歴史・地理

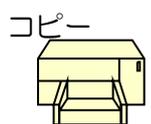
1 哲学

就職コーナー

就職コーナー



閲覧コーナー



コピー

展示コーナー



今月の展示



視聴覚資料

私はいつもここにいますらび (^▽^)ノ

あ〜楽しかった☆
みんなもぜひ図書館に来てね!

らびちゃんのぶらり☆

図書館探訪!



図書館には何があるのかな?
らびと一緒に探検に出発〜!



ラブちゃんをかわいくめってあげてね!

毎年3キャンパスのメディアセンター及び図書館で発行している『島根県立大学メディアセンター報トライアングル』に掲載するため、教職員と学生みなさんに「あなたにとって読書とは」というテーマでコメントをいただきました。トライアングルの紙面の都合上掲載出来ないものがありましたので、こちらですべて紹介します！みなさんにとって読書とはなんですか？

あなたにとって 読書とは



総合文化学科
大塚茂先生

私はどんな本を読んできたのか、ほんのちょっと振り返ってみたら……。驚くべき過去を発見してしまいました。高校生のとき平田の町の小さな本屋さんでひょいといと買ってしまった1冊の小説、そして大学入学前、京都の町のおぼけた小さな本屋さんでたまたま買ってしまった1冊の社会科学書、——この2冊が私のその後に特別大きな意味を持っていたのではないかと……。いやはや偶然の出会いって恐ろしい。でも、これって本当に偶然だったのだろうか？



保育学科
飯塚由美先生

現在は、残念ながら仕事上必要な『読書』になっていて、全く楽しめる時間ではありません。中学生の頃は、図書委員長として図書館カウンターで業務のサポートをしていましたが、部活の傍ら、一ヶ月に30冊近く読んだ事が懐かしいです。広がる世界への驚きとわくわく感は、今も記憶に鮮明に残っています。



健康栄養学科
小柏道子先生

私にとって読書とは、必要に迫られて読む専門書やハウツウものではない文学書を読むことを指し、今はまだ忙しくて時間がないうちと逃げ続けてきた未解決の問題。一度読書三昧の日を送ってみたいと思いつけている。



総合文化学科
石井大輔先生

私は未来を描くために読書します。本に書かれているのはすべて過去のことで（未来の予想や予定について書かれていても、本当の未来は誰にもわかりません）。過去を知ることで、未来について考えることができます。もし、楽しみのために本を読んでいたとしても、それで心が豊かになれば未来への活力となります。未来に繋がるという点では共通ですね。



管理課長
上代勇夫

わたしにとって読書とは、人生で最も長くつきあっていく相棒であると思います。そして、人生で最も都合の良いパートナーです。それは、幼少期から私の都合で、「師」であり「友」であり「魔法使い」であるからです。



図書館主任司書
北井由香

自分ではない他の誰かの人生を垣間見ることができるものです。実際に会う人の数は、限られていますが、本を読むと様々な人に会うことができます。それは、著者であったり、小説の中の登場人物であったり…。そういう人たちに会うことが私にとっての読書です。そして、とても楽しいものです。



管理課情報主事
周藤祥子

最近の読書というと、子どもと一緒に絵本を読む（見る）くらいです。子どもが生まれてからは自分のために読むことは少なくなりましたが、読む本は違って私にとっては大事な時間です。



図書館司書 馬庭佳緒里
最近の私にとって読書は、通勤時間の一部です。混んでいる車内にいてもその事を忘れさせてくれます。そんな色々な世界が感じられる時間です。



図書館司書 山岡麻衣
脳内の引出しを増やす事が出来る、一番行いやすい趣味の中の一つ。人と人との関わりの中で大切な語彙や想像力を鍛えるために必要なもの。



図書館嘱託職員
中谷祥子

「生活の一部」です。好きな本を何回も読むタイプです。気に入った映画、ドラマの原作も感情を細かく理解するために読みます、「ふたりっ子」「たったひとつの恋」などがおすすめです。



図書館アルバイト
森田歩美

自分の想像力や知識を豊かにしてくれるものです。



図書館アルバイト
総合文化学科
2年 水川瞳

どんな本であるかにかかわらず、作者の心に触れ、多様な価値観を学ぶことです。



あなたにとって読書とは？と聞かれ、改めて読書について考えてみました。息抜きであったり、時間を潰すためだったり…。いろいろな考え方がありますが、私にとって読書とは「一番楽しいこと」だと思います。

図書館アルバイト 総合文化学科 2年 石田晶子



私にとって読書とは様々な考え方を知ることができる手段だ。特に小説の果たす役割は大きい。その中に描かれている登場人物の感じたことなどから、こんな考え方もあるのかと自分の視野を広げるきっかけになる。

図書館アルバイト 総合文化学科 1年 大西葵



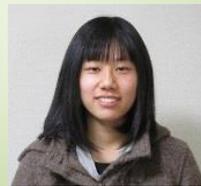
ひとりになることができる時間。でも、ひとりじゃないような時間。その感覚が好きです。

おはなしレストランライブラリー司書 尾崎智子



心の換気。本を読んでいると、窓を開けたときのように、心の中に新鮮な風が入ってくるような気がします。

おはなしレストランライブラリー司書 司書 内田絢子



学生図書委員 総合文化学科 1年 小豆沙織

様々な価値観を与えてくれたり、想像力をかきたててくれるもの。



私にとって読書とは、自分の周りにある様々な「出会い」の1つだと思います。本を読むと、自分だけでは体験出来ないことも含めて、いろいろなことを体験出来るからです。

学生図書委員 総合文化学科 2年 安達静香



「どこでもドア」と「タイムマシン」の機能を合わせたようなものです。どんな場所にも、いつの時代へも行くことができます。

学生図書委員 総合文化学科 1年 山中多希子



健康栄養学科 1年 河野あずさ

リラックスできる時間です。中学生の頃から読書が好きで、今でも就寝前や休みの日にはよく読書をしています。好きな本を読んでいると、穏やかな気持ちになれるので、私にとってかけがえのない時間となっています。



気分転換できるものです。日常生活とは違った世界の中に感情移入することで、日々の生活のことを忘れられたり、時には自分では思いつかない考え方を発見できたりすることが魅力だと感じています。

健康栄養学科 2年 巽里香



初めて聞く言葉など、今まで知らなかったことを知ることが出来るので、とても面白いです。

健康栄養学科 1年 多賀泉



保育学科 1年 原健悟

私にとって読書とは、想像をふくらますことのできるものだと思います。読書をすることで登場人物に感情移入をしたり、登場人物になりきって読めるからです。そうすることでより読書を楽しめるし、どんどん読みたくなります。



読書とは、絵本を楽しむことです。私が絵本を好きになったきっかけは、小さな頃に読んだ「ぐりとぐら」です。大きなカステラが本当に美味しそうでそのページを何度も見ていました。これからもたくさんの絵本を読み魅力的な絵本の世界を楽しみたいです。

保育学科 2年 坂本菜由



昔から本が好きで、小学校の時にはカバンにどうしても借りた本が入らず、腕に抱えて帰った思い出もあります(笑)その本は、今でも大好きな本で思い出しては読み返しています。これからもたくさんの本出会うと楽しめたらと思います。

保育学科 2年 勝部佳菜



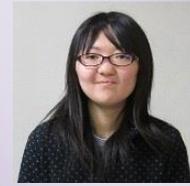
私にとって読書とは“発見”です。図書館に行くと様々なテーマの本がありますが、敢えて苦手な分野の本を借りるようにしています。未開拓の分野に足を踏み入れるときは、いつもワクワクします。

総合文化学科 2年 山田友紀子



総合文化学科 2年 清水典子

私が20代の頃の愛読書は、赤川次郎の『三毛猫ホームズ』シリーズでした。本を読みながらいつもホームズと共に推理をしていたものです。私にとって読書とは、私自身が話の中の登場人物となり想像力を膨らませ遊べる幸せな時間をもたせてくれるものです。



総合文化学科 1年 河村光希

どこか遠くへ一瞬でつれて行ってくれる魔法。本の世界に浸っていると、自分ではない誰かになれる、客観的に自分を見つめる事が出来る。読書の後、世界がどこか違って見えるあの感覚がとてつもなく好き。

読書マラソン報告

6月18日(月)～11月30日(金)の期間に開催していた「読書マラソン」の結果が発表されました。これにあたって12月18日(火)に図書館で表彰式を行いました。『読書部門』と『絵本・多読部門』でそれぞれPOPの数を競う【読書賞】とPOPの出来栄を競う【POP賞】を選出しました。結果は以下の通りです。

『読書部門』

【読書賞】

- 1位 小濱早季 (27枚)
- 2位 石田晶子 (9枚)
- 3位 堀江知世 (3枚)
岩田晶子 (3枚)

【POP賞】

- 1位 岩田晶子「モニタールーム」
- 2位 石田晶子「トッカン」
- 3位 石田晶子「はじめての切り絵レッスン」

『絵本・多読部門』

【読書賞】

- 1位 川本あゆみ (22枚)
- 2位 小豆沙織 (15枚)
- 3位 田中沙織 (5枚)

【POP賞】

- 1位 川本あゆみ「おふろだいすき」
- 2位 川本あゆみ「フレデリック」
- 3位 角森みゆき「あかいくつ」

☆【読書賞】には図書カード、【POP賞】にはカリヨンの食事券が贈呈されました。



図書館クイズ報告

12月26日(水)～1月31日(木)まで、冬休みを利用し、おはなしレストランライブラリー(以下おはレス)で「図書館クイズ」という企画を開催しました。対象はおはレスの利用者で、クイズのレベルは入門編、レベル1、2、3の4種類があり、全問正解者には首にかけられる認定書としおりを贈呈しました。

今回の図書館クイズは前回よりも開催期間を延ばしたり、クイズのレベルを増やしたりしたおかげか、参加者数はなんと65人でした!!たくさんの参加ありがとうございました。

大変なこともありましたが、子たちの笑顔も見られて、改めて「やってよかったな」と思いました。

実行して下さった司書の方々、参加した下さった方々、本当にありがとうございました!!

次回の図書館クイズもさらに楽しいものにできるように頑張りたいと思います!



編集後記

Postscript



今回で、2年生は最後の図書館新聞になりました。やっぱり短大は短いですね…せっかく仲良くなったのにアツというまにさようならなんて。1年生のみんなとは少ない交流でしたが、きっと図書委員会をより大きくしてくれると確信しています（笑）最後の図書館新聞はやりたいことを詰め込みました！らぶちゃんの七変化ではないですが、とても楽しくなりました。ぜひ、じっくりとお読みください～

2年 榎原

つくろうと思いつつも、忙しさにかまけてつれなかった図書館新聞。私たちの世代ラストを飾る図書館新聞は全13ページの特大版になりました。

作成にあたり、新しい内容を盛り込んでみたい、と他の図書館新聞担当の人や司書さんたちにずいぶんわがままをきいてもらったように思います。おかげですばらしい最終号になりました。本当にありがとうございました！！

2年 水川

2年生最後の図書館新聞、みんなのおかげでとても楽しく作り上げられました！最後ののをいいことに新しい試みがたくさん重量感のある新聞になりました。らぶちゃんのラブリーなショットもたっぷりな、らぶちゃん推し号です。次回以降どんな新聞が出来上がるのか楽しみです！1年間ありがとうございました！

2年 田邊

（図書館新聞ワーキング リーダー）

2度目の新聞づくりなので多少はやり方も分かってきた…と思ったのですが、そう簡単なものではなかったです。この新聞は他の担当さんや司書さんの協力あってのものなんだな、ということを感じました。次号からは私たちが主体となって製作していくことになるので、より良い・楽しい新聞が作れるように頑張りたいと思います。先輩方、2年間おつかれさまでした！（^^）

1年 内田

図書館・おはなしレストランライブラリーの司書さん
図書委員会のみなさん、

そして図書館新聞を読んでもくださった方々

今までありがとうございました！これからもよろしくお願いします！！ 図書委員会

facebook はじめました！

図書館 HP 学生図書委員ページのリンクからどうぞ